

JIS

クラフト紙袋— 寸法の記述及びその測定方法

JIS Z 1531-1 : 2004

(JKPSA/JSA)

(2008 確認)

平成 16 年 2 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 物流技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高橋輝男	早稲田大学
(委員)	秋山芳夫	社団法人日本産業機械工業会
	岩橋俊彦	社団法人日本産業車両協会
	稲東原樹	社団法人日本ロジスティックシステム協会
	井上彰一郎	国土交通省
	佐々木春夫	社団法人日本包装技術協会
	鷹背豊二	社団法人全日本トラック協会
	筒井善次	株式会社日通総合研究所
	永井元	株式会社商船三井
	西重樹	日本貨物鉄道株式会社
	西本徳生	厚生労働省
	福本博二	社団法人日本パレット協会
	村木裕世	社団法人日本航空宇宙工業会
	山下廣行	国土交通省

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.2.20

官 報 公 示：平成 16.2.20

原 案 作 成 者：全国クラフト紙袋工業組合

(〒104-8139 東京都中央区銀座3丁目9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4854)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：物流技術専門委員会 (委員長 高橋 輝男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国クラフト紙袋工業組合(JKPSA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 6591-1:1984, Packaging—Sacks—Description and method of measurement—Part 1: Empty paper sacks を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS Z 1531-1 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 寸法の記述及び寸法呼称	2
4.1 開口式袋	2
4.2 バルブ付き袋	6
4.3 バルブの位置	9
5. 測定方法	10
5.1 器具	10
5.2 試料サンプリング	10
5.3 手順	10
5.4 試験結果	10
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表	11
解 説	13

クラフト紙袋—寸法の記述及びその測定方法

Kraft paper sacks—Description and method of measurement

序文 この規格は、1984年に第1版として発行された ISO 6591-1, Packaging—Sacks—Description and method of measurement—Part 1: Empty paper sacks を翻訳し、編集上及び／又は技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線及び点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更して作成している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、未充てんクラフト紙袋の寸法の記述、寸法の呼称及びこれらの寸法測定方法について規定する。この規格は、主に **JIS Z 0102** に規定する紙袋に適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 6591-1:1984, Packaging—Sacks—Description and method of measurement—Part 1: Empty paper sacks (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 0102 クラフト紙袋—用語及び種類

備考 **ISO 6590-1:1983**, Packaging—Sacks—Vocabulary and types—Part 1: Paper sacks からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 1531-3 袋—試験用空袋のサンプリング方法

備考 **ISO 7023:1983**, Packaging—Sacks—Method of sampling empty sacks for testing からの引用事項は、この規格と一致している。

ISO 6599-1:1983, Packaging—Sacks—Conditioning for testing—Part 1: Paper sacks

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義及び記号は、次による。

なお、参考として対応英語を括弧をつけて示す。

備考 特に指定のない限り、この項におけるすべての寸法は外径とし、ミリメートルの単位で表す。

- a) 袋の長さ (length of sack) a 底に直角で中央で測ったフラットな袋の横端間の距離。
- b) 袋の幅 (胴幅) (width of sack) b 底に平行に中央で測ったフラットな袋の縦端間の距離。